

2019年11月8日(金)～9日(土)

# 第73回 国立病院総合医学会で

## 学会発表にてベストポスター賞を いただきました！



愛知県名古屋市で開催

テーマ： 令和における国立医療の挑戦  
～明日は変えられる～

開催場所：名古屋国際会議場

### 抗がん剤治療中の患者のセルフコントロールを 目的とした転倒予防レシピの検討

記：10階西病棟看護師 高崎 恵

10階西病棟は抗がん剤治療をされる患者さんが多く入院されています。

副作用症状の出現によって、歩行時のふらつきを自覚し、転倒してしまう危険性があります。安全に入院生活を送っていただくために転倒を予防できるような関わりができたらいと思ひ、病棟で転倒予防に対する看護に取り組みました。その結果を『抗がん剤治療中の患者のセルフコントロールを目的とした転倒予防レシピの検討』として、名古屋で開催された国立病院総合医学会で発表してきました。

実際の取り組みでは、まず転倒のリスクを知るために、片足立位テストを行いました。片足を挙げた姿勢を何秒保つことができるか測定をしました。思っている以上に姿勢を保つことができず、ご自身の転倒リスクが高いことに驚く患者さんもおられました。

また、治療中は副作用症状として、発熱や倦怠感などがあります。このような症状があるときには、転倒のリスクがない方でも転倒をしてしまう危険があることを呼びかけると共に、入院中は自宅での生活と違い、活動する時間も少ないため筋力低下を予防できる簡単な下肢の運動を取り入れました。

この取り組みに賛同し、参加していただいた患者さんからは、「転倒予防のために自分で転倒を回避できるように対策をしている。」「自宅でも運動を継続したい。」という言葉いただき、継続して取り組んでいただきました。そして、取り組んでいる期間中の転倒件数は、取り組み前と比べて減少させることができました。

学会では、転倒予防の運動はどこの病院でも取り入れることができ、患者さんと一緒に取り組むことができる看護介入としてベストポスター賞をいただくことができました。今後も、安全な入院生活を送っていただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

発表後には名古屋城を巡ったり、ひつまぶしを食べたり、名古屋を堪能することができました。

